

第 428 回集談会

1. 日時：2011 年 10 月 31 日（月）16:30～
2. 場所：カンファレンスルーム（ウェリタス5階）
3. 座長：薬物治療学教室 講師 蓬田 伸先生(内線3411)
4. 演者：薬理学教室 教授 丹野孝一先生(内線3701)
5. 演題：モルヒネ鎮痛耐性および身体的依存形成メカニズムの解明
6. 要旨：慢性疼痛患者の QOL 向上を目指す上にも「モルヒネ鎮痛耐性および身体的・精神的依存形成メカニズムの解明」は、極めて重要な研究課題の一つであると考えられる。当教室では、この様な考えのもと、主にダイノルフィンをはじめとする生理活性ペプチドおよびこれらに関連する機構からモルヒネ鎮痛耐性ならびに依存形成メカニズムの解明を目指している。この研究過程において、モルヒネ鎮痛耐性および身体的依存形成にダイノルフィンの分解に関わるシステインプロテアーゼや転写因子 p53 が関与していることを見出した。本集談会では、この研究成果について紹介させて頂く。